

# 平成25年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

# 1 診療計画及び診療に関する重点事項等

## (1) 診療計画

### ①日本海総合病院

- ・地域医療支援病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供する。
- ・他の医療機関と連携して、住民が安心できる地域の医療提供体制を構築する。
- ・庄内地域で唯一の救命救急センターとして、高度な救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、充実したがん治療を提供する。
- ・災害拠点病院として、被災地域の患者の受入れ、及び医療スタッフの派遣等の医療救護活動を行う。
- ・へき地医療拠点病院として、へき地の住民に対する医療提供及びその支援等へき地医療活動を行う。
- ・エイズ治療拠点病院として、総合的かつ高度なエイズ治療を提供する。

### ②酒田医療センター

- ・地域のニーズに応じ、療養及び回復期医療を提供する。
- ・回復期リハビリテーションの一層の充実に取り組む。
- ・通所リハビリテーションに取り組み、患者のQOL維持・向上に寄与する。

## (2) 診療に関する重点事項

### ①診療体制の整備

#### a) 救急医療(日本海総合病院)

- ・救急科専門医の育成等、体制の充実について検討を行う。
- ・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図り、ドクターカーの配備について継続して検討を行う。
- ・関係機関と共同で、ヘリポートでの患者受け入れ訓練を行う。
- ・社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間の成人・小児に対する診療体制を、酒田市の財政支援のもと維持する。

関連指標（平成23年度実績：患者数）

小児科	その他
830人	1,914人

#### b) がん医療(日本海総合病院)

- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実
- ・PET/CTによるがん治療の強化、早期発見のための検診を拡充する。
- ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施

関連指標（平成23年度実績：実施件数）

手術	放射線治療	外来化学療法
1,065件	9,513件	3,896件

・緩和ケア医療の充実

関連指標（平成23年度実績：実施件数・患者数）

病棟回診	緩和ケア外来
383件	100人

・セカンドオピニオン外来の充実

関連指標（平成23年度実績：実施件数）

セカンドオピニオン外来	2件
-------------	----

・院内がん登録機能、相談支援体制の充実

関連指標（平成23年度実績：実施件数）

がん相談	934件
------	------

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、患者の社会復帰に寄与する。
- ・CT、MRI検査の24時間対応の継続
- ・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。

d) 糖尿病（日本海総合病院）

- ・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集学的治療の充実

関連指標（平成23年度実績：実施件数）

教育入院	個別栄養指導	
	入院	外来
79件	191件	143件

e) 回復期リハビリテーション（酒田医療センター）

- ・回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士等を増員する。
- ・ドライブシステムを導入し、社会復帰に必要な動作の評価・測定を行い、より効果的なリハビリテーションを行う。
- ・通所リハビリテーションを新たに運用し、1日あたり4～5名を見込み、年間で延べ800名の利用を目標とする。

f) 在宅医療支援及び療養支援

- ・地域の介護機関、福祉機関、医療機関との連携を強化するため、相談窓口機能の充実を図る。

関連指標（平成23年度実績：実施件数）

	日本海総合病院	酒田医療センター
退院調整	1,899件	229件

- ・急性増悪による入院の受入れなど、在宅患者及び介護・福祉機関の患者に対してかかりつけ医と連携して医療支援を行う。
- ・酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」との連携の強化を図る。

## g) その他

- ・両病院間の患者移動について、「げんき号」の効率的な運行について検討する。

### ②災害時や健康危機における医療協力（日本海総合病院）

- ・災害発生時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。
- ・地域が被災した場合に備え、酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」に参加する。
- ・航空機事故に備え、山形県が実施する「庄内空港消火救難訓練」に参加する。
- ・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。
- ・小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水などを備蓄する。
- ・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制の整備を図る。
- ・新型インフルエンザをはじめ新たな感染症が発生したときは、山形県と連携して対応する。

### ③政策医療の実施（日本海総合病院）

- ・高度専門医療について、ハイブリッド手術室の整備にともない、国の定める先進医療である「経カテーテル大動脈弁留置術」を導入する。
- ・第二種感染症指定医療機関として、速やかな感染症患者の受け入れのためマニュアルの見直しを行う。
- ・認知症疾患医療センターを運営し、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。
- ・臓器移植について、提供施設として訓練を行う。

### ④医療スタッフの確保及び資質向上

#### a) 医療人材の確保・育成

- ・山形大学との臨床実習協定によりスチューデントドクターを受け入れ、医学生の教育及び医師育成の一翼を担う。
- ・臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受け入れ拡大に努め、教育研修体制の充実を図る。
- ・がん性疼痛看護、がん放射線療法看護、摂食・嚥下障害看護及び集中ケアの認定看護師の資格を取得するため、看護師4人を研修に派遣する。
- ・薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し専門技能の向上を図る。

#### b) 事務職員の確保と専門性の向上

- ・他病院との合同研修会及び交流を通して、人材育成と専門性の向上を図る。
- ・医師事務作業補助者の資質向上を図る。

### ⑤医療サービスの効果的な提供

#### a) 地域連携の推進

- ・日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たし、紹介率60%以上、逆紹介率30%以上を目標とし、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図る。

関連指標（「地域医療支援病院」指定申請時、H23実績）

紹介率	逆紹介率
61.8%	41.8%

- ・地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へとシームレスなサービスの提供に努める。

関連指標（平成23年度実績）

	日本海総合病院	酒田医療センター
退院時共同指導	32件	0件
介護支援連携指導	333件	98件

b) ITネットワークの活用（「ちようかいネット」の活用推進）

- ・平成23年度から稼働している「ちようかいネット」について、利用医療機関等の拡大を図る。

関連指標（平成23年度実績）

登録施設数	登録患者数
59施設	2,386件

c) 地域連携クリティカルパスの活用

- ・大腿骨頸部骨折、5大がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数増加を図る。

関連指標（平成23年度実績）

CHS	肺がん	大腸がん	肝がん	乳がん	胃がん
111件	4件	16件	0件	7件	14件

- ・急性心筋梗塞及び糖尿病パスの導入について検討を行う。

⑥庄内地域における医療水準の向上

- ・庄内地域の他の医療機関と交流を行い、連携強化を図る。
- ・平成23年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究 所酒田分室について、継続して調査活動に協力する。
- ・日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校の実習施設としての役割を担う。
- ・「山形県看護教員養成講習会」に看護師2名を派遣し、酒田市立看護専門学校の看護教員として育成する。

⑦住民の意識の啓発

- ・地域住民を対象としたセミナー、病院広報紙などの発行を積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・日本海総合病院において、外来診療の待ち時間対策を検討する。

- ・患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を常設し、一層のサービス向上と業務改善に取組み、患者または住民本位のサービスの提供に努める。
- ・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。
- ・日本海総合病院において、一部の外来診察室ドアを引戸へ改修し、及び待合ホールの床を補修する。
- ・平成20年度から実施した重症心身障がい児（者）短期入所事業について、日本海総合病院の空床を利用したレスパイト入院を継続して実施する。

関連指標（平成23年度実績）

延べ利用者数	30人
--------	-----

- ・酒田市からの受託事業である病児・病後児保育事業を、日本海総合病院院内保育所「あきほ保育園」（以下、「あきほ保育園」という。）において継続して行う。
- ・地域交流事業として病院祭「あきほ祭り」を開催する。また、病院内の敷地を地域の団体等に展示・即売施設用として開放し、地域密着型の親しみがあり信頼される病院づくりに努める。

#### （4）法令等の遵守と情報公開の推進

- ・基本理念、倫理綱領及び病院運営方針を定め周知を図る。
- ・医療情報のセキュリティ向上のため職員、委託職員を対象に院内研修を実施する。また、「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対しても研修を実施する。
- ・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行う。

関連指標（平成23年度実績）

	日本海総合病院	酒田医療センター
カルテ開示件数	32件	4件

#### （5）医療安全対策の充実・強化

- ・インシデントレポートの収集、分析及びリスク回避の方策について検討し、院内研修会や定期的な院内広報の発行などにより周知し、患者安全管理体制の推進・強化に努める。

## 2 人員配置の弾力的運用

### （1）短時間正職員制度

- ・医師確保及び定着化を図るため、短時間正職員制度を導入する。

### （2）負担軽減

- ・医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を活用する。
- ・看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を活用する。

(3) 障がい者雇用

- ・ 障害者雇用促進法に基づき、雇用率2.3%以上の確保に努め、障がい者の雇用促進及び職業安定に寄与し、その有効活用を行う。

3 施設整備及び医療機器等の整備計画

(単位：百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		
建設改良費	2,086	設立団体からの 長期借入金、出 資金（出資債） 等
酒田医療センター増築等	164	
レジデントハウス整備	189	
医療機器整備	1,453	
その他（改修工事等）	280	

(1) 統合再編に係る施設整備

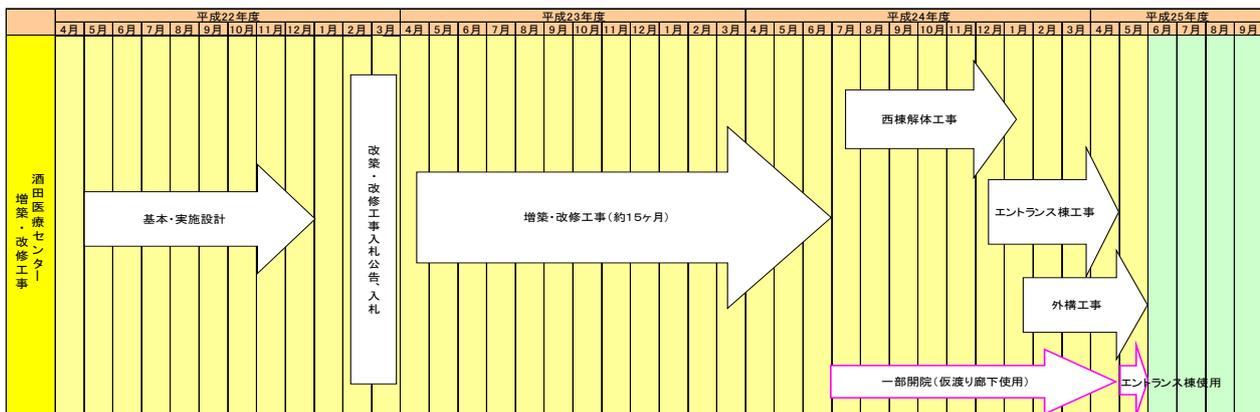
酒田医療センターの増築・改修工事は、平成25年5月末に竣工予定である。

◆酒田医療センターの施設整備予定内容

項 目	内 容
A棟改修（旧東棟）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70床（2病棟）</li> <li>・ 機能訓練室</li> </ul>
B棟増築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 44床</li> <li>・ 通所リハビリテーション施設</li> <li>・ 給食施設</li> </ul>
エントランス棟	西棟の解体後にA棟とB棟をつなぎ入口部分となるもの。

<施設整備のスケジュール>

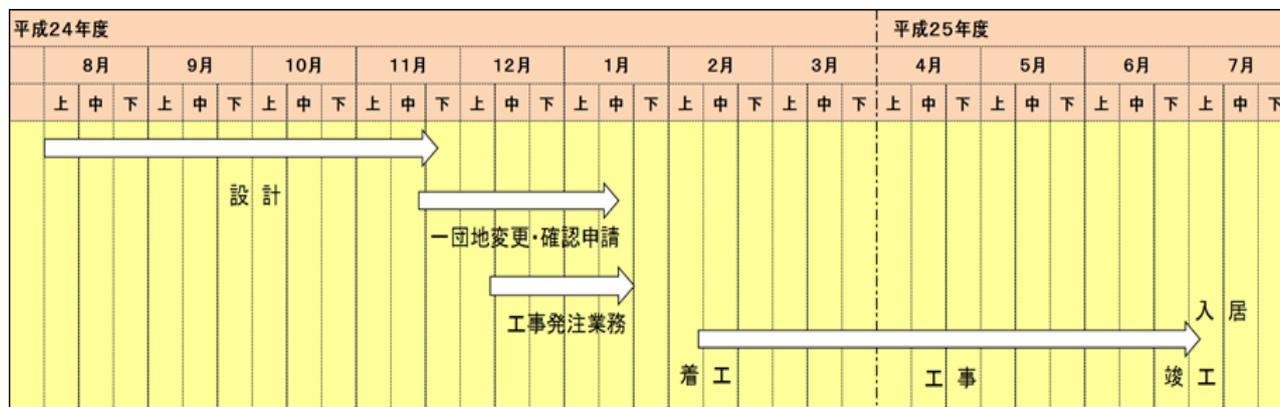
- ・ 基本設計・実施設計：平成22年度
- ・ 工事期間：平成23年度から平成25年度



## (2) レジデントハウスの整備

- ・ 研修環境整備の一環として、レジデントハウス（鉄筋コンクリート造、3階建て、30戸）を建設する。

### <施設整備のスケジュール>



## (3) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- ・ 高度専門医療等の充実のため、次のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・ 高度医療機器の更新・整備に当たっては、医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して進めるものとする。

### <平成25年度の医療機器整備費（長期借入金対象）>

(単位：百万円)

病院名	事業費	主な内容
日本海総合病院	1,380	ハイブリッド手術室、電子カルテ更新
酒田医療センター	10	ベッド更新等
合計	1,390	

#### 4 患者数の見込みと予算・収支計画・資金計画

##### (1) 患者数の見込み

(単位：人、%)

		平成25年度			平成24年度 (当初予算ベース)		
		日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計
入院	病床数	646	114 (79)	760	646	114	760
	1日当たり	545.0	67.9	612.9	555.0	68.4	623.4
	病床利用率	84.4	59.6 (86.0)	-----	85.9	79.3	-----
外来	1日当たり	1,360.4	3.2	1,363.6	1,414.0	1.7	1,415.7

※ ( ) 内は、運用病床数及びその病床利用率である。

## (2) 予 算 (平成25年度)

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
収 入	19,905	906	20,811
営業収益	16,385	579	16,964
医業収益	15,783	560	16,343
運営負担金	602	19	621
営業外収益	1,004	76	1,080
運営費負担金等	848	71	919
その他	156	5	161
資本収入	2,485	230	2,715
運営費負担金	985	220	1,205
長期借入金	1,500	10	1,510
その他の収入	31	21	52
支 出	17,932	1,184	19,116
営業費用	13,746	855	14,601
医業費用	13,573	855	14,428
給与費	6,982	529	7,511
材料費	3,927	20	3,947
経費	2,574	298	2,872
資産減耗費	4	0	4
研究研修費	86	8	94
一般管理費	173	—	173
営業外費用	620	20	640
資本支出	3,507	288	3,795
建設改良費	1,884	202	2,086
長期借入金返還金	1,622	86	1,708
その他	1	—	1
その他の支出	59	21	80

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

## (3) 収支計画（平成25年度）

（単位：百万円）

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
収入の部	17,482	678	18,160
営業収益	16,447	580	17,027
医業収益	15,783	560	16,343
運営費負担金収益	602	19	621
資産見返運営費負担金戻入	62	1	63
営業外収益	1,004	76	1,080
運営費負担金収益	848	71	919
その他医業外収益	156	5	161
その他の収入	31	22	53
支出の部	17,044	1,107	18,151
営業費用	16,093	1,052	17,145
医業費用	15,920	1,052	16,972
一般管理費	173	—	173
営業外費用	710	30	740
その他の費用	241	25	266
純 利 益	438	▲429	9
目的積立金取崩額	—	—	—
総 利 益	438	▲429	9

(4) 資金計画 (平成25年度)

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
資金収入	22,786	2,564	25,350
業務活動による収入	17,419	676	18,095
診療業務による収入	15,783	560	16,343
運営費負担金による収入	1,450	90	1,540
その他の業務活動による収入	186	26	212
投資活動による収入	985	220	1,205
運営費負担金による収入	985	220	1,205
その他の投資活動による収入	—	—	—
財務活動による収入	1,500	10	1,510
長期借入による収入	1,500	10	1,510
その他の財務活動による収入	—	—	—
前年度からの繰越金	2,882	1,658	4,540
資金支出	18,417	1,242	19,659
業務活動による支出	14,910	954	15,864
給与費支出	7,526	587	8,113
材料費支出	3,927	20	3,947
その他の業務活動による支出	3,457	347	3,804
投資活動による支出	1,885	202	2,087
有形固定資産の取得による支出	1,884	202	2,086
その他の投資活動による支出	1	—	1
財務活動による支出	1,622	86	1,708
長期借入の償還による支出	531	1	532
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,091	85	1,176
その他の財務活動による支出	—	—	—
翌年度への繰越金	4,369	1,322	5,691

## 5 その他業務運営に関する事項

### (1) 就労環境の整備

- ・「あきほ保育園」は、通年で24時間保育を行う。
- ・「あきほ保育園」は病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を行う。
- ・電子カルテ更新にともない、効率的に作業が行えるようナースステーション内の環境整備を図る。

### (2) 人間ドック・検診における連携

- ・公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、日本海総合病院において「心臓ドック」（仮称）の導入を図る。
- ・酒田地区医師会と連携し、地域の検診体制の強化を図る。

### (3) 地球環境にやさしい病院づくり

- ・日本海総合病院において、新棟を除く既存棟の蛍光灯をLED照明に交換する。

### (4) 酒田市飛島診療所への支援

- ・平成24年度から常勤医師が不在となっている酒田市飛島診療所（以下「飛島診療所」という。）について、酒田市が医師を確保するまでの間、日本海総合病院の医師が4～10月において週に1回、飛島診療所で支援を行う。
- ・日本海総合病院は、救急患者対応として遠隔診療システム等を利用し、飛島診療所を支援する。

### (5) その他

- ・第10回日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会を開催し、他の病院と情報交換を行い、地域連携の一層の強化を図る。